

平成 29 年度 北広島市公益活動事業補助金
実施事業報告会の内容及び質疑

日 時	平成 30 年 5 月 24 日 (木) 18:15~18:50
会 場	北広島市役所 1 階 多目的室 4
出席委員	及川正勝委員、福与春美委員、成田俊樹委員、村上廣四委員
欠席委員	前田智加委員
市出席者	【市民環境部】高橋部長 【市民参加・住宅政策室】米川室長、高嶋主査、梅木主任、畠山主事

1. 開会

○事務局

時間となりましたので、只今より、平成 29 年度北広島市公益活動事業補助金実施事業報告会を開催いたします。

私、市民環境部 市民参加・住宅政策室の室長をしております米川といいます。よろしくお願ひします。

早速ですが、開会に先立ちまして、市民環境部長の高橋より一言挨拶を申し上げます。

○市民環境部長挨拶

皆さん今晚は。市民環境部長の高橋です。

日頃より市民協働の推進にご理解とご協力をいただき、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げますとともに、大変ご多忙の中、公益活動事業補助金の実施事業報告会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、「市民協働によるまちづくり」というと、市民の皆さんと行政がパートナーとして手を取り合い、お互いを尊重して、様々な形・スタイルを通じて、公共の利益に資するまちづくりを実践していくことと認識しております。

本日の報告会は、昨年に公益活動事業補助金を受けられた 2 団体より、実施事業の報告を受け、事業の評価について、市民協働推進会議に諮るという趣旨であります。

また、団体からの事業報告の後、市民協働推進会議委員の皆さんから、評価に係る質問等をさせていただき、いろいろなお話が聞ければと思っております。

結びになりますが、市民の皆さんによる公益活動がますます広がり、魅力と活力のあふれた「まちづくり」の醸成に努めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

○事務局

《市民協働推進会議の委員の紹介》

《事務局（市民参加・住宅施策課）の紹介》

続きまして、今日の報告会に当たりまして、再度「留意事項」について確認します。

平成 29 年度 北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会の内容及び質疑

- ① 発表時間は、10分をお願いします。時間になりましたらお知らせします。
- ② 事業報告は、「申請通り実施できたか」「目的を達成できたか」「事業に対する社会的理解や支援が広がったか」「事業の自立に向けた今後の方針」などを簡潔に発表してください。
- ③ 発表後に、委員から質問を行います。質疑時間は5分程度で予定しておりますので、簡潔にお願いしたいと思います。

2. 実施事業報告

それでは、「平成29年度北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会」を開始いたします。事業名「久蔵&クラーク祭り」について、「北ひろ二蔵社中」さんから発表をお願いいたします。

《北ひろ二蔵社中 発表》

昨年の6月2日のプレゼンで説明を求められていた項目に沿って、報告をしたいと思います。

まず、一つ目の公益性について

北広島市における観光振興政策に寄与することをモットーにして実施しました。北海道及び道教委の後援を得られた事実から、公益性は十分に証明できたものと考えています。

二つ目の必要性について

過去において、市が開催した中山久蔵の稲作成功140年祭と2007年のクラークフェスタ130が本事業の必要性を十分に物語っているものと考えています。

三つ目の効果性について

事前の報道効果と思われるが、札幌市民をはじめ、近隣市町からの市民が約50名を超えたと思われませんが、その起因としては、野外劇の上映があったからだと思われれます。ちなみに、当日配布するパンフレット式のプログラムを400部用意しましたが、手元に残ったのが30部くらいしか残らなかったもので、370名ほどの方が来てくれたと思っています。

四つ目の適格性について

これについては、適格であったと言う以外、特筆すべきコメントはありません。

五つ目の実現の可能性について

無事成功したので、可能性は見い出せたと思っています。

六つ目の発展・普及性について

アンビシャスシティのキャッチコピーで観光振興を標榜している行政の今後の取り組み姿勢にかかっているのではないかと考えています。

最後の地域の活用性について

平成 29 年度 北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会の内容及び質疑

10年前に行ったクラークフェスタと比べると地域の方の協力の面では格段に得られたと思います。売りであった野外劇では西部小学校のクラス担任、生徒3人、英語教師が劇に役者として参加、地域の交通指導員の会長も出演してくれた他、地元の婦人部がコーンスープを作ってくれました。また、中山宅の地先ではハーブ茶の試飲・販売コーナーの設置、マラニックのコースの途中にあるクラークカントリー倶楽部が積極的に参加してくれて、休憩場所を提供してくれたことなど、大きな地域の協力体制であったと考えています。

以上が報告となります。

《質疑応答》

○事務局

それでは、委員の方、質問をお願いいたします。

○A委員

いつ行われたのですか。

●10月1日の日曜日です。

○B委員

この事業にとっても感心があり、大変地域の方も含めて盛り上がったように思います。今後はどのように考えていますか。

●今後は特に考えていませんが、やるとしたら10年後くらいに行政や観光協会といった若い人たちがやってくれればと考えています。

○C委員

財源に自助努力とあるが、今後、どういう形で確保していくのですか。

●今後は、毎年やるのは、財源、人材等の面で難しいので、できれば、市担当課や観光協会にバトンタッチしていければいいと考えています。

○D委員

10年に1回の祭りと聞いていますが、毎年のようにやっていただいで、皆さんに周知していければいいのではないのでしょうか。

協賛金等は募ってないので、こういうものを募って、きたひろを発信していけたらよりよいのではないのでしょうか。

●私も期待しています。ノウハウ等は私が熟知しているので、誰かに継承していけたらと考えています。

平成 29 年度 北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会の内容及び質疑

○事務局

終了時間になりましたので質疑を終了します。

北ひろ二蔵社中の皆様、大変お疲れ様でした。

休憩、団体入れ替わり

○事務局

続きまして、事業名「北広島の子育て環境の充実を図る事業」について、「子育て支援ワーカーズほっとまむ」さんから発表をお願いいたします。

《子育て支援ワーカーズほっとまむ 発表》

北広島市の子育て環境の充実を図るために3つの事業申請しました。

1. ひろばDEもくていたいむ

市内各地域6回巡回、世代を問わず参加できる交流の場として、延169名参加（うち大人59名、小学生37名、幼児73名）がありました。

各回、リトミックタイム、カプラなど、お楽しみを交えながら開催しました。

補助金をもらって購入した移動用コンテナにおもちゃを詰めて移動しました。

おもちゃも新しく購入させていただきました。

ひろばDEもくていたいむの旗を屋外、屋内に掲げたりもしました。

ともにや、希望ヶ丘会館では木のおもちゃを多めに使用、南ヶ丘会館では旗を屋外に掲げました。

アンケートでは、近所だから、気軽に来られたという声が多くありました。特に児童センターが遠い地域は行くところがないという声を、以前から聞いていました。

会場を決めるときに、難色を示した会場も一部ありましたが、積極的に協力していただきました。

産前産後サポートの拡充ということで、10ヶ月までのお子さんを1歳までに拡充、回数も2回から3回へ拡充しました。件数が少ないですが、問合せはあるので、今後も続けていきたいと思います。

産前のサポートについては、周知を行いました、実施には至っていません。

子育てネットワーク交流会の開催については、サークル、行政、子育てに関わる方の情報共有の場を持つということで行いました。

第1回は石狩市で10年間子育てネット会議を行っている方に来ていただき、お話しを聞きました。また参加したいという意見をたくさんいただきました。

平成 29 年度 北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会の内容及び質疑

第 2 回は行政から緊急サポートについて、民生委員の方の活動、子ども食堂等のお話を聞きました。参加者からは、いろいろな子育てに関わる活動、団体等があつて驚いた等の声が寄せられました。行政からの緊急サポートについては、知っていたが、改めて説明を聞けて、理解が深まったとのことでした。

今後も活動を広げていきたいので、今年度については協働事業提案制度の申請をしています。アイデア等を出しながら、協力しながら、進めていければと考えています。

《質疑応答》

○事務局

それでは、委員の方、質問をお願いいたします。

○D 委員

市とどのような連携をしているのですか。

●ほっとまむで開催しているイベントや広場で、困っている親子を見つけたら、市につなげるようにしています。

現在、行っている会議等については、他市町村では市が主催していることが多く、市が主催していければいいと思いますが、それまでの繋ぎとしてもやっていければいいと思っています。

○B 委員

活動が活発で、子育てで悩んでいる人にもっと知ってもらえたら大変いい事業だと思うので、行政との連携を今後、もっと考えてはどうですか。会場費は市が持つといった話はないのですか。

●会場費以外にも経費があるのですが、自力では難しいので、今年度も補助申請をしています。

○C 委員

おもちゃは不足していないのですか。

●おもちゃは寄付等があつたりして増えています。今時点では充分と思っています。

○A 委員

お仕事されている方は何人いるのですか。

●10人です。

平成 29 年度 北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会の内容及び質疑

○A委員

事業があつて大変ではないですか。民間のやるべきことなのかどうかといった意味も含めて、行政を巻き込んで進めていってほしいと思います。

●ありがとうございます。市にもこういうのが必要だという意味合いも込めてやっていきたいと思つてます。

○事務局

終了時間になりましたので質疑を終了します。

子育て支援ワーカーズほっとまむの皆様、大変お疲れ様でした。

3. 閉会

○事務局

これをもちまして、「平成29年度北広島市公益活動事業補助金 実施事業報告会」を終了いたします。

今日の評価結果につきましては、後日、「北ひろ二蔵社中」と「子育て支援ワーカーズほっとまむ」さんに送らせていただきます。

本日は大変ご苦労様でした。

委員の皆様におかれましては、引き続き7時から「第1回市民協働推進会議」を「3階会議室3C」で開催しますので、移動をお願いします。